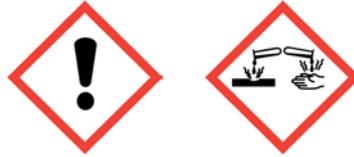




**安全データシート**
**2. 危険有害性の要約**  
 GHSラベル要素  
 絵表示  
 又はシンボル


- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : 飲み込むと有害  
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 水生生物に毒性
- 注意書き  
 安全対策 : 取扱後、手洗い・うがいをよく行うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 粉じんを吸入しないこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 粉じんの吸入を避けること。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 環境への放出を避けること。
- 応急措置 : 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 保管 : 施錠して保管すること。
- 廃棄 : 内容物 / 容器は都道府県条例および市町村の規則に従って廃棄すること。

## 安全データシート

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量(%)	官報公示整理番号	CAS番号
ブロモクロロ-5,5-ジメチルヒダントイン	—	5-6368	126-06-7
1,3-ジクロロ-5,5-ジメチルヒダントイン	5~15	9-580	118-52-5
その他	—	—	—

\*ブロモクロロ-5,5-ジメチルヒダントイン(以下、BCDMH)

\*1,3-ジクロロ-5,5-ジメチルヒダントイン(以下、DCDMH)

分類に寄与する不純物 : なし  
又は安定化添加物

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、水で口、のど、鼻等を洗浄する。  
異常がある場合は医師の診察を受ける。皮膚に付着した場合 : 付着物を取り除くため、乾いた布で直ちに拭く。  
シャワー等で石鹼を使って少なくとも1分以上洗浄する。  
異常がある場合は医師の診察を受ける。眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼する。  
異常がある場合は医師の診察を受ける。飲み込んだ場合 : 水でうがいをする。  
無理に吐かせない。  
異常がある場合は医師の診察を受ける。急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候 : 粘膜に付着すると炎症を起こす。  
皮膚、眼、粘膜に刺激性がある。

応急措置をする者の保護 : 救護者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注 : 酸化性あり

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 大量の水、炭酸ガス

使ってはならない消火剤 : ABC粉末消火剤や他の粉末消火剤

特有の危険有害性 : 塩素、塩化水素、臭素、クロミン等のガスを発生させる。

特有の消火方法 : 大量の水、炭酸ガス消火器を使用する。

消火を行う者の保護 : 空気呼吸器、保護手袋、保護メガネ等適切な保護具を着用する。

## 安全データシート

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
 保護具及び緊急時措置 : 吸い込んだり、眼、皮膚に直接触れないように適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出は避ける。  
 漏出した周辺は「立入禁止」とし、河川への流出等周辺への拡大を防止する。
- 封じ込め及び浄化の方法  
 及び機材 : 漏出物は掃き集め空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 回収した漏出物および水濡れした製品は「廃棄上の注意」に従い廃棄処理をする。  
 水濡れした製品は、大量の水に溶解し還元剤を除々に加えて残留塩素を分解後、アルカリ剤で中和し放流する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

- 技術的対策(局所排気、  
 全体換気等) : 吸い込んだり、眼、皮膚に直接触れないように適切な保護具を着用する。  
 火気を近づけない。  
 水に濡らさない。  
 局所換気装置を設置する。

- 安全取扱注意事項 : 飲み込むと有害である。  
 眼、鼻、口へ入らないように適切な保護具を着用する。  
 金属を腐食させる。  
 尿石除去以外の用途には使用しない。

- 接触回避 : アルカリ性や酸性のトイレ洗浄剤を直接かけない。  
 吸湿に注意する。  
 吸い込んだり、眼、皮膚に直接触れないように適切な保護具を着用する。

- 衛生対策 : 作業服は常に清潔に保持し、汚れたままにはしない。

#### 保管

- 安全な保管条件 : 容器を密封し、水、湿気、直射日光を避け、冷暗所に保管する。  
 火気、摩擦、衝撃を避ける。  
 酸化還元性物質と同一場所に置かない。  
 子供の手の届かないところに保管する。

- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン内装又はOP/CP内装ダンボールケース、ファイバードラム

### 8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 換気のよい場所で作業する。
- 管理濃度 : (塩素ガスとして) 0.5ppm (1995年3月27日 労働省告示第26号)
- 許容濃度 : (塩素ガスとして) 0.5ppm, 1.5mg/m<sup>3</sup>  
 (2005年日本産業衛生学会)  
 TLV-TWA(8時間): 0.5ppm  
 (ACGIH.1993-1994)  
 TLV-STEL(15分): 1ppm  
 (ACGIH 1993-1994)

- DCDMH TLV-TWA: 0.2mg/m<sup>3</sup>(ACGIH.2001)  
 TLV-STEL: 0.4mg/m<sup>3</sup>(ACGIH.2001)

**安全データシート**

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 保護具

呼吸器用保護具	:	保護マスク
手の保護具	:	ゴム手袋
眼の保護具	:	保護メガネ
皮膚及び身体の保	:	長袖の作業服を着用

## 9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、 形状、色など)	:	白色錠剤
臭い	:	ハロゲン臭
臭いの閾値	:	情報なし
pH	:	情報なし
融点・凝固点	:	BCDMH 融点:120-148°C DCDMH 融点:131-134°C
沸点、初留点及び沸 騰範囲	:	DCDMH 無し
引火点	:	DCDMH 171-174°C
自然発火温度	:	なし
燃焼性(固体、気体)	:	情報なし
燃焼又は爆発範囲の 上限下限	:	情報なし
蒸気圧	:	DCDMH 0.087Pa(25°C)
蒸気密度	:	情報なし
蒸発速度	:	情報なし
比重(相対密度)	:	DCDMH 1.62(24°C)
溶解度	:	情報なし
n-オクタノール/水分 配係数	:	情報なし
分解温度	:	BCDMH 165°C DCDMH >200°C
粘度(粘性率)	:	情報なし
その他データ	:	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性および化学的 安定性	:	通常の条件下では安定している。
危険有害反応可能性	:	酸、アルカリ、還元剤、酸化剤と反応し発熱する。
避けるべき条件	:	高温多湿を避ける。

**安全データシート**

10. 安定性及び反応性 混触危険物質	:	酸、アルカリ、脱塩素剤(チオ硫酸ソーダ、亜硫酸ソーダ)、酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	:	(還元性物質)塩素、塩化水素、臭素、クロラミン等の有害なガスを発生する。
その他	:	情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性		
経口	:	BCDMH ラット LD <sub>50</sub> 441mg/kg DCDMH ラット LD <sub>50</sub> 618mg/kg
経皮	:	DCDMH ウサギ LD <sub>50</sub> >20g/kg
吸入	:	情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	BCDMH 腐食性 corrosive DCDMH 腐食性 corrosive
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	BCDMH 重度の刺激性
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	DCDMH 皮膚感作性あり
生殖細胞変異原性	:	情報なし
発がん性	:	情報なし
生殖毒性	:	情報なし
特定標的臓器毒性 単回ばく露	:	情報なし
特定標的臓器毒性 反復ばく露	:	情報なし
吸引性呼吸器有害性	:	情報なし
その他の情報	:	情報なし
12. 環境影響情報		
生態毒性	:	BCDMH EC50ミジンコ(48時間) 0.19mg/L DCDMH LC50ニジマス(96時間) 1.1mg/L
残留性・分解性	:	BCDMH/DCDMH 水の存在下で次亜臭素酸、次亜塩素酸を形成して5,5-ジメチルヒダントインおよび5,5-エチルメチルヒダントインに変化し、最終的には生分解していく。
生体蓄積性	:	情報なし
土壌中の移動性	:	情報なし
オゾン層への有害性	:	情報なし
他の有害影響	:	情報なし

## 安全データシート

13. 廃棄上の注意
- 残余廃棄物 : 産業廃棄物として処理する。  
                   : 大量の水に溶かし還元剤を徐々に加えて残留ハロゲンを分解し、アルカリで中和し放流する。  
                   : 火災の原因になるため、ゴミ箱やゴミ捨場に絶対捨てない。
- 汚染容器及び包装 : 内容物/空容器は都道府県条例および市町村の規則に従って廃棄する。
14. 輸送上の注意
- 国際規制
- 国連番号 : 3261
- 品名 : その他の腐食性物質(1,3-ジクロロ-5,5-ジメチルダントイン)
- 国連分類 : 8
- 容器等級 : III
- 海洋汚染物質 : 非該当
- MARPOL 73/78附属書 II 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体
- 国内規制
- 陸上規制情報 : 非該当
- 海上規制情報 : 船舶安全法 該当 腐食性物質
- 航空規制情報 : 航空法 該当 腐食性物質
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器に漏れがない事を確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れを防止する。  
                   : 衝撃は与えない。  
                   : 水濡れ、火気及び直射日光は避ける。  
                   : 水、酸、アルカリ、他の塩素剤、還元剤、油脂及びその他の可燃物に触れさせない。
15. 適用法令
- PRTR法 第二種指定化学物質 DCDMH含有
- 安衛法 通知対象物質 DCDMH含有  
           表示対象物質 DCDMH含有
- 船舶安全法(危規則) 腐食性物質
- 航空法 腐食性物質
16. その他の情報
- 記載内容の取り扱い : 本安全データシート(SDS)に示す情報は、信頼しうると考えられる資料並びに測定等に基づき一般的な取扱いを前提に誠意を持って作成しています。  
                   : この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいては正確ですが、明記があるにしてもないにしても保証はありません。  
                   : 本資料を参考として、自らの責任において個々の取扱い等に応じた適切な措置にて本製品をご使用下さるようお願いいたします。  
                   : 尚、全ての材料には未知の危険性がありますので、取扱いには十分注意して下さい。